

「地域を愛し、自分で考え 自分で行動する子ども」を育てる

コミュニティ・スクール 通信

令和4年度 第4号 9月16日

日の里学園コーディネーター 北岡 隆博



日の里まつり ～3年ぶりのまつりに子どもたちも活躍～

コロナ禍で2年間中止になった日の里まつりが、今年は開催されました。久しぶりのまつり

を一層盛り上げるために、今年も日の里学園の小中学生たちが活躍しました。具体的には、小学生が「オリジナルTシャツ・バッグ」作りと紹介・販売、動画、ステージでの合唱等のパフォーマンス、中学生が吹奏楽部のコンサート、ヤングスタッフ等のボランティア活動、そして小中学生ともに、ポスター、のぼり旗のデザイン作りなどに創意工夫して取り組みました。



9年生の「自ら考え行動する防災訓練」

日の里カリキュラム「安心安全のまちづくり」で、9年生は災害時に自分たちでできることについて考えました。具体的には、6月に東日本大震災の被災者とオンラインで結んで体験を聞いたり、危機管理課や玄海少年自然の家の方から情報を収集したりしながら、備蓄倉庫を点検したり避難マップや避難所グッズを作ったりしました。また9月8日には熊本地震で避難所運営を経験した南阿蘇中学校を訪問し、生徒たちと交流学习をしたり、震災遺構を見学したりしました。それらの学習をもとに、9月10日（土）の宗像市防災訓練の日には、地域から20名以上のシニアクラブ等の方々に協力していただき、避難所運営の実際について学びました。このような体験的学習を通して、9年生は、将来もし災害が発生したら、何を考え、どう行動したらいいのかを考えるきっかけになったことと思います。

